

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》 池森 康裕 岡橋 智恵（衛）

【概要】

利用者の尊厳と自立（律）した生活を支える観点から、必要な知識と技術を学ぶ。特に身じたく（衣服の着脱含む）と食事の知識と介護技術について学ぶ。

【学習目標】

- ・ ICFの視点に基づいて、自立に向けた身じたく（衣服の着脱含む）の介護ができる。
- ・ 食事の意義と目的について理解し、自立に向けた食事の介護ができる。
- ・ 口腔ケアの意義を理解し、適切なブラッシングの介護ができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	この科目で学ぶこと - 科目の位置づけ アセスメント	池森
2	身じたくの意義と目的	自立生活を支える身じたく介護とは	池森
3	身じたくの意義と目的	身じたくにおけるアセスメント	池森
4	身じたくにおける介護技術	整容における介護（洗顔。 髭剃り・化粧）	池森
5	身じたくにおける介護技術	整容における介護（洗顔。 髭剃り・化粧） 演習	池森
6	身じたくにおける介護技術	口腔ケアとアイスマッサージ	池森
7	身じたくにおける介護技術	口腔機能の向上	池森
8	身じたくにおける介護技術	口腔ケアと口腔機能の向上演習	池森
9	身じたくにおける介護技術	衣類を着用する意義と目的	池森
10	身じたくにおける介護技術	自立に向けた端座位での着脱介護	池森
11	身じたくにおける介護技術	自立に向けた仰臥位での着脱介護	池森
12	事例演習A	右片麻痺高齢者の着脱介護	池森
13	事例演習B	左片麻痺高齢者の着脱介護	池森
14	事例演習A 事例演習B	右片麻痺高齢者の着脱介護 左片麻痺高齢者の着脱介護	池森
15	まとめ	身じたく（衣服の着脱）における、他職種との連携	池森
16	食事の意義と目的	自立生活を支える食事の介護とは	池森
17	食事介助におけるアセスメントの視点	自立度に応じた介助の実際 自立に向けた自助具の使用法	池森
18	誤嚥・窒息の防止	気道と食道の位置関係について	池森
19	脱水予防	脱水が起こる要因	池森
20	低栄養予防	高齢者にとって望ましい食生活と自助具の使用法	池森
21	事例演習A	右片麻痺高齢者の食事介護	池森
22	事例演習A	右片麻痺高齢者の食事介護	池森
23	事例演習B	左片麻痺高齢者の食事介護	池森
24	事例演習B	左片麻痺高齢者の食事介護	池森
25	口腔ケア （口腔内の清潔）	口腔の特徴としくみについて理解する。 歯科の2大疾患であるう蝕と歯周疾患について理解する。 唾液の働きについて理解する。	岡橋
26	口腔ケア	効率のよい歯磨きの仕方を習得する。	岡橋

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
	(口腔内の清潔)	口腔ケアのための器具を選択できる。 デンタルフロスの使用方法を習得する。	
27	口腔ケア (口腔内の清潔)	要介護高齢者の口腔の特徴を理解する。 口腔ケア用品の使用方法を理解する。 義歯の適切な取り扱い方法について学び、正しいブラッシングを実践する。	岡橋
28	口腔ケア (口腔内の清潔)	相互実習によりブラッシングの介助方法を習得する。	岡橋
29	口腔ケア (口腔内の清潔)	相互実習によりベッド上でのブラッシング介助方法を習得する	岡橋
30	まとめ	食事の介助における、他職種との連携	池森

【評価方法】

筆記試験100%

【備考】

教科書：介護福祉士養成講座編集委員編集：最新・介護福祉士養成講座7 『生活支援技術』 中央法規 2019

参考書：介護福祉士養成講座編集委員編集：最新・介護福祉士養成講座6 『生活支援技術』 中央法規 2019
介護福祉士養成講座編集委員会編集：最新・介護福祉士養成講座14 『こころとからだのしくみ』 中央法規 2019

その他：この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「生活支援技術」に該当する。

【学習の準備】

演習では動きやすい服装と上靴を準備すること。スカートや土足では講義を受けられないので注意すること。
講義・演習で渡した資料はファイルに保管して、毎回持参すること。
演習を行う上では、次回の内容を事前にシラバスで確認し教科書を一読しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2.1.3.4

【留意事項】

演習時は、学生同士のグループで進めていくので、遅刻・欠席は他の学生へ影響を及ぼしかねない。

- ・遅刻、早退、欠席は極力避けること。
- ・15分以上の遅刻・早退は欠席扱いとする。
- ・遅刻・早退3回で1回の欠席としてカウントするので注意すること。

【実務経験】

池森康裕(介護福祉士)、岡橋智恵(歯科衛生士)

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での介護分野の専門職として、実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。
歯科医院での歯科衛生士としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。